



令和4年4月7日

報道機関 各位

東北大学東北アジア研究センター

### 江戸時代の仙台、藩政のしくみを明らかにする 『仙台藩の武家屋敷と政治空間』を出版

#### 【発表のポイント】

- ・ 現在は確認することが困難となった仙台の武家屋敷について、考古学と歴史学の共同研究で明らかにし、書籍として出版しました。
- ・ 仙台藩主（伊達家）の配下には、たくさんの武士たちがおり、女性や子どもたちの存在も重要でした。本書では仙台藩の武家社会を構成する人々に注目し、当時の様子を再現しています。

#### 【概要】

仙台藩士は、仙台城の近くと、自分の領地に屋敷をもっており、この2つの拠点が発点として仙台藩の政治に大きな影響を与えていました。東北アジア研究センターの野本禎司助教、荒武賢一朗教授らは、仙台城下と領内にあった武家屋敷に注目して、これまでわからなかった仙台藩の特徴を発見し、書籍として出版しました。

本書は、仙台藩の武家屋敷に着目して、その利用実態を明らかにするとともに、領内における「政治空間」について検討した10本の論考を2部構成によりまとめています。第1部では、仙台藩研究で実現していなかった考古学と文献史学の共同研究、第2部では、武士たちが組織する「家」とその構成員（家臣・女性・子どもなど）を歴史資料から解明し、「政治空間」を明らかにしています。

なお、2021年度に実施した東北アジア研究センター共同研究「仙台城の利用実態に関する復元的研究—近世東北地方の城郭比較分析—」の成果の一部です。本書は2022年2月に岩田書院より発行されました。

#### 【問い合わせ先】

東北大学東北アジア研究センター  
担当 野本禎司 荒武賢一朗  
電話 022-795-3140 022-795-3196  
E-mail uehiro@grp.tohoku.ac.jp

## 【詳細】

### 1. 書誌情報

書名: 仙台藩の武家屋敷と政治空間

編者: 野本禎司(東北大学東北アジア研究センター助教)

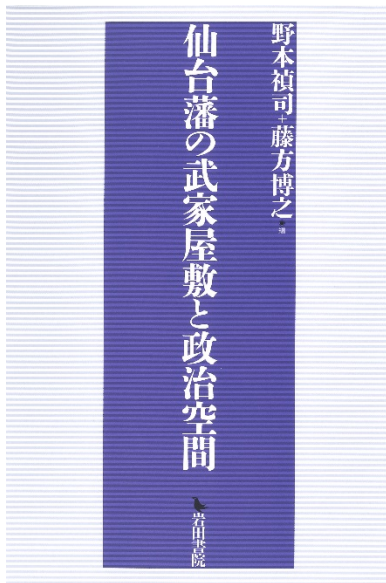
藤方博之(東北大学東北アジア研究センター助教)

発行: 岩田書院

判型: A5判 上製本 352 ページ 本体価格 6,900 円 ISBN978-4-86602-135-5

岩田書院ホームページ

<http://www.iwata-shoin.co.jp/bookdata/ISBN978-4-86602-135-5.htm>



### 2. 目次

序章 仙台藩の武家屋敷と政治空間—武士の「居場所」への注目

(野本禎司・藤方博之)

第一部 城下武家屋敷の利用実態

第一章 仙台城跡川内地区の土地利用の変遷(菅野智則)

第二章 考古資料からみた仙台城下の武家屋敷地区(菅野智則・柴田恵子)

第三章 仙台藩重臣層の武家屋敷の変遷と利用(野本禎司)

第四章 法令からみる仙台城下の武家屋敷(藤方博之)

第五章 明治初年における仙台城下の武家地(荒武賢一郎)

第二部 仙台藩の政治空間と「家」

第六章 伊達政宗当主期の意思伝達と家臣(黒田風花)

第七章 近世前期仙台城下の丸中奥の構成員とその処遇(清水翔太郎)

第八章 仙台藩宿老の役割(野本禎司)

第九章 登米伊達家「御家政方一件」における家臣団の動向(藤方博之)

第十章 給人家中(陪臣)の足跡(荒武賢一郎)